

平成28年10月23日執行

志摩市長選挙公報

志摩市選挙管理委員会

生活と暮らしを楽に

- ・ゴミ袋を値下げします。
- ・色ビン、プラスチック等の分別の簡素化を図ります。
- ・粗大ごみの軒先回収を進めます。



獣害対策

- ・深刻な問題になっている獣害対策に対応するための組織、猪鹿庁を立ち上げ、若者やベテランによる駆除や、ジビエ化、6次産業化も含め働く場を作り森林と農地を守ります。



ポストサミットと観光振興、産業振興

- ・志摩に観光系大学、料理学校等のキャンパスを誘致し、若者が住み続けられ集まる地域にします。また水産業、農業などの産業を連携させ、志摩マルシェを進めます。
- ・伊勢志摩サミットで観光客の増えた横山の駐車場整備等を進め、さらに満足度を高め誘客を図ります。また志摩の海辺のライフスタイルを創造し新しい観光資源にします。
- ・志摩の優れた産物、伊勢えびや、カキ、アワビ、きんこいも等の増殖・増産を図り、国内外に販路を開拓します。

教育

- ・志摩市教育研究所を立ち上げ、学力の向上やいじめ対策等、教育環境を充実させます。



医療・福祉

- ・浜島診療所の常勤の医師を確保し、地域の医療体制を復活させます。
- ・市民病院の経営健全化を図り、総合医を中心とした医療体制を整備します。
- ・県立志摩病院の救急体制の強化と産婦人科の再開に向け、県と連携を取り協力します。
- ・通院バスの運行の検討を進めます。
- ・高齢者福祉の充実と障がい者の交通費補助を行います。

生活・環境

- ・磯部・和具等の閉鎖された清掃センターを再活用し、生ごみや間伐材を利用したバイオマス発電や余熱を利用したアワビ等の中間育成、果樹栽培などを行い施設の有効活用を進めます。

防災対策

- ・防災教育を強化し災害に備えます。
- ・情報技術やフェイスブックなどを利用した災害情報ネットワーク化を図り、防災体制を強化します。
- ・職員OBによる災害即応チームを発足させ、発災時や応援体制を強化します。

空き家・空施設対策

- ・空き家・空施設を再生し地域を活性化させます。



たけうち
竹内 ちひろ 57歳
プロフィール
元町議・前町長
文岡中学・山商・早稲田大学卒業
元町議・前町長・元市長・前市議

市民と語り 市民と創る



市長候補..太口秀和の血の叫び・小さな文字に大きな志と決意

理念・・「住む人支え 来る人迎える」「豊かな里と海のまち」の地方創生を前に

◎地域一丸となって、防災力・減災力・復興力の強さと質の向上をはかり、防災の日常化を構築し防災と災害に素早く対応できる災害に強い地域をつくりたい◎

志摩市は、台風や発生が予想される南海トラフ地震に備え、自治会市民と連携し避難路等の設置や整備、防災訓練をしてきました。でも災害に備えるには、モノだけの対応では限界があり、災害発生時は住民と行政が一つになり、危機に對する事が重要です。今は災害発生時、行政が主に動き住民はそれを受容する「行政は守るもの・住民は守られる者」の傾向があり、これでは取り組みの効果も十分に発揮されません。災害に立ち向かうのは地域社会全体で、防災や復興は住民と行政の共同がこれまで以上に求められます。私は市民一人ひとりの生命の安心安全に、これまでの防災減災施策も進めながら「地域社会全体で災害に備える」体制の構築を進めます。住民行政が一つになって災害に向かえば、防災のみならず住民と行政の連携や市民活動や行政運営の改善にもなります。互いを思い合う取り組みが志摩市を元気にそして地方創生を押し上げます。

◎住む人支え、来る人迎える、「豊かな里と海」の地方創生事業の推進で、市民がいつまでも住み続けられる志摩市に変革していきます◎

市は27年度に志摩市人口ビジョンと志摩市創生総合戦略を策定し、28年度から地方創生に取り組み始めました。私はこの志摩の地方創生事業の推進を加速強化し、志摩市のめざす「住む人支え、来る人迎える、豊かな里と海のまち」の実現を図ります。市民や事業者の「やる気」を「本気」に「本気」を「動き」にして、それを支援できる仕組みで雇用を図り、志摩市がこれからは元気に続いていくための取り組みをします。志摩市創生総合戦略の「まち・ひと・しごと創生」を6つの政策にわけ事業を張り付けました。①「ひとの育成」として地域の食材、産業、文化、自然等を理解し、愛し、生かすことのできる力強さを備えた市民の育成、②「ひとの確保」として支え合い競い合える多様な人材の確保、③「まちの発見」として地域の魅力や資源の再発見、④「しごとの強化」として地域を代表する産業の強化、⑤「しごとの創出」として新たな産業の創出、⑥「まちの形成」として一人ひとりが個性を発揮できる潤いのある豊かな地域社会づくりの6つです。この政策を進め、各政策間の連携と循環で、志摩市の地方創生を進めます。人を育て、人材を確保し、地域資源を見なおし、今ある産業を強化し、新たなビジネスを起こし、住みよくて働けるまちを創り、更に人を育成し人材の確保をするという「まち・ひと・しごと」の循環です。今、市では政策分野ごとに目標値を決め具体的な42の施策を進めています。地域の実状や魅力を知る子ども達を育成する事業、転入者増の制度構築事業、創業や事業拡大を支援する制度構築事業、若者や女性に特化した暮らしやすさの事業、水産業農業を強化する制度構築事業、様々な人材とのつながりを紡ぐ場の創出事業、新しいビジネス創出、小児医療費等の免除による子育てしやすいまちづくり事業など、様々な施策に取り組みます。また新しい施策はないか、進めている施策の改善を常に検討し、事業内容を確認し、時代に即した地方創生事業を推進します。日本の人口減少の中、市の人口減少の速度を落としても、人口減少は避けられない、それでも本市が豊かな地域であり続けるには、縮小する地域社会を充実させる「縮充」の実現が必要です。市摩市で、皆が豊かに暮らせ、赤ちゃんの声が多く聞こえるまちづくりに、市民と行政が一つになり、市の地方創生の前進で、安心のまちをつくりたい。また里海創生も地方創生に組み込み、進めていきます。

◎地域医療における市民病院の位置づけを明確にし病院再生と真に地域に貢献できる病院運営を確保します◎
◎伊勢志摩サミット成功の効果を生かした取り組みを進めます◎◎教育の充実と子供たちの郷土愛への深まりを促します◎◎財政健全化と財政運営の効率化をさらに進めます◎◎福祉行政の深化を図ります◎
他にも政策をはじめ解決する課題はたくさんありますが、一つ一つ、責任を明確にした政治、明確に決められる政治をもって、市民の皆様が志摩市で、この地域で、これからも生き生きと暮らしていくために前衛となって動きます。私はこれからも、市民目線で、皆様と話をしながら、この地域の抱える問題課題を、ともに解決し、この志摩市で皆様が安心して心豊かに暮らせることを願い、しっかりとぶれず政治をおこなっていきます。皆様のご支援とご協力が、この町を明るくします。再度のご支援をお願いします。



おおくち しょうわ
太口 秀和



志摩市長選挙

投票日10月23日(日)

投票時間 午前7時から 午後6時まで

＜志摩市長選挙に立候補をした理由と政策＞

私は 中学校を卒業後は 波切を離れ、様々な人生経験を
して、また故郷大王町に戻ってきました。
どこに居ても、私は誰からも親切にしてもらい、そんな自分を誇らしく
思っていますが、それらは皆、故郷大王町の人々に「きわい」と海や
田畑が 私を育ててくれたおかげです。
その大王町から全てが 消え 厳しい現実があります。
帰省の際は 町議会を傍聴したり、役場に問い合わせしていましたが
昨年帰省してからは 95歳の母の介護もあり波切にいますので サミットや
地方創生、地域医療等の集会で 志摩市のことが 大分わかりました。
知ったことに眼をさぶることはできませんので 立候補することになりました。
選挙公報は 何も無い私にとって 立候補の 大きな助けになりました。
志のある普通の人がこの制度により 議員となり、地域の発展や人々のために 活動をする。
そんな 社会のための先駆になればと願っています。

＜選挙公約＞

- (1) 自治会や各種団体、市民集会等の公開討論の回数を増やし、住民の切実な要望を知るとともに、住民の市政への参画を進めます。
- (2) 波切の巻の活用とイベント頼みではない観光客集客のために、歴史と文化伝統のある伊勢～熊野を一体とした観光政策、日本の、世界の桃源境 伊勢～熊野を各方面に働きかけます。
「桃源境」とは、子供とお年寄の笑顔が 皆の僅か喜びであり 生活を通して人生の意味を悟る社会です。

皆様のご賛同、ご支援をよろしくお願い致します。



はまぐち じゅんじ
濱口 淳子

志摩市長選挙

投票日は 10 月 23 日 (日)

投票時間 午前 7 時から午後 6 時まで

〈期日前投票〉 10 月 22 日 (土) まで
午前 8 時 30 分から午後 8 時

10 月 23 日に仕事、旅行、レジャー等で投票できない方は、
期日前投票をしましょう。

選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられました。
(平成 10 年 10 月 24 日以前に生まれた方には、選挙権があります。)

大事な投票、忘れずに!



志摩市選挙管理委員会